

## シラバス

科目名	地域福祉と包括的支援体制 I		
担当教員	竹中健		
配当年次	2 年次	開講時期	1 学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2 単位
準備事項			
備考			

### 【授業のねらい】

- ①地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。
- ②地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。
- ③地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。
- ④地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。

### 【授業の展開計画】

1. 新しい社会福祉システム これまでの社会福祉と地域福祉の発展について考察する
2. 新しい社会福祉システム 社会福祉のメインストリームとしての地域福祉と主体形成について考える
3. 地域福祉の基本的な考え方 地域福祉理論の発展過程について概観する
4. 地域福祉の基本的な考え方 地域自立支援の考え方を理解する
5. 地域福祉の基本的な考え方 地域社会のとらえ方と保健・医療・福祉圏域について考察する
6. 地域福祉の主体と福祉教育 福祉教育と福祉教育の歩みについて理解する
7. 地域福祉の主体と福祉教育 福祉教育の概念と内容について理解する
8. 行政組織と民間組織の役割と実際 地方分権と福祉計画の意義・目的について理解する
9. 行政組織と民間組織の役割と実際 社会福祉協議会の概要を把握する
10. 行政組織と民間組織の役割と実際 社会福祉法人とボランティア活動の概要を理解する
11. 行政組織と民間組織の役割と実際 民生委員・児童委員、保護司、コミュニティビジネスを把握する
12. 社会福祉の財政 国、地方、保険料、民間の財源について理解する。
13. 福祉計画の策定方法と運用について考察する。
14. コミュニティ・ソーシャルワークと専門職 コミュニティワークの考え方・方法について理解する
15. コミュニティ・ソーシャルワークと専門職 専門職チームアプローチと住民参加について考察する

### 【履修上の注意事項】

地域福祉に関する日常的なニュースや報道の内容に関心を払い、また、実習やボランティアで見聞きしたことを土台にして、地域福祉の理論や方法がどのように実際の場面で活かされているかを考えながら受講し、事前学習を最低 30 分はとり、事後学習にも努めること。

### 【評価方法】

講義内で実施する 5 回のミニテストの結果（各回 100 点満点：合計 500 点満点）をもとに総合的に判定する（100%）。

### 【テキスト】

新・社会福祉士養成講座 6 『地域福祉福祉と包括的支援体制』社会福祉士養成講座編集委員会編集、中央法規出版を使用する。

### 【参考文献】

- 1) 必要に応じ、授業の進展に合わせて提示する。
- 2) 授業ごとに必要な資料を配布する。